

厚生文教常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	所 管 課
1	市民ホール整備事業の進捗状況について	文化政策課
2	映画「地上の星 - 二宮金次郎伝」について	生涯学習課
3	小田原労働基準監督署の是正勧告への対応について	経営管理課

平成30年 1 月 29 日

市民ホール整備事業の進捗状況について

1 進捗状況について

(1) 整備事業公募型プロポーザルの結果

平成29年12月9日、市民ホール整備推進委員会を開催し、優先交渉権者を決定

ア 優先交渉権者

鹿島建設・環境デザイン研究所共同企業体

イ 提案内容（施設構成）

大ホール（客席数1,116席）、小ホール（客席数300席）、ギャラリー、中スタジオ、小スタジオ（3室）、創造スタッフ室、オープンロビー、情報コーナー、カフェ、管理事務所等

(2) 事業協定

平成30年1月26日、鹿島建設・環境デザイン研究所共同企業体と締結

(3) 第Ⅰ期事業（設計業務）契約

平成30年1月26日、事業協定に基づき締結

(4) CM（コンストラクション・マネジメント）業務

第Ⅰ期事業及び第Ⅱ期事業（建設工事等）におけるコンストラクション・マネジメント業務を委託するCM事業者選定プロポーザルを再度実施

(5) 用地取得

平成30年1月5日、計画予定地内の用地（所有者2名：373.20㎡）の売買契約を締結

2 市民説明会の開催について

- (1) 名 称 優先交渉権者の提案内容についての市民説明会
- (2) 日 時 2月11日（日・祝）午後3時から5時まで
- (3) 場 所 市役所大会議室

2次審査評価点

審査項目	配点	梓設計・小泉アトリエ ・佐藤工業共同企業体 (B者)	鹿島建設・環境デザイン 研究所共同企業体 (C者)	前田建設工業・ヨコミン マコト建築設計事務所共 同企業体 (D者)
		得点	得点	得点
合 計	100	72.650	73.500	64.100
1. 企業体の技術力	8	7.150	8.000	6.600
(1) 配置予定技術者の同種施設の実績	7	6.150	7.000	5.600
① 統括管理技術者	2	2.000	2.000	2.000
② 設計業務管理技術者	2	2.000	2.000	1.200
③ 建築設計主任技術者	1	1.000	1.000	0.600
④ 構造設計主任技術者	1	1.000	1.000	1.000
⑤ 電気設備設計主任技術者	0.5	0.150	0.500	0.300
⑥ 機械設備設計主任技術者	0.5	0.000	0.500	0.500
(2) 設計受賞歴	1	1.000	1.000	1.000
2. 業務計画提案	12	10.500	7.500	8.250
(1) 事業の実施体制提案書				
① 本事業の実施方針				
② 基本設計～施工まで含めた事業の実施体制 及び意思決定者や設計、施工の役割分担など	6	6.000	3.000	4.500
③ 設計体制の独立性と施工技術の活用				
(2) 設計業務の実施方針提案書				
① 具体的な設計業務の進め方				
② 要求水準を満足する設計品質確保に向けた 企業体としてのチェック確認方法				
③ 要求水準を満足する設計品質確保を発注者 と確認する方法	3	2.250	2.250	2.250
④ 市民説明の頻度や市民の意見に対する技術 的見解の提示など、市民や発注者との設計 業務の進め方				
(3) 事業工程計画提案書				
① 事業工程計画 ア 設計・施工の全事業スケジュール イ 主要マイルストーン ウ 市民説明、発注者による設計 内容の確認・意思決定時期等	3	2.250	2.250	1.500
② 事業工程管理計画 事業期間を確実に遵守するための 設計・施工の工程管理手法				

2次審査評価点

審査項目	配点	梓設計・小泉アトリエ ・佐藤工業共同企業体 (B者)	鹿島建設・環境デザイン 研究所共同企業体 (C者)	前田建設工業・ヨコミン マコト建築設計事務所共 同企業体 (D者)
		得点	得点	得点
3. 施設計画提案	62	43.500	48.500	35.000
3.1 施設全体計画提案	31	22.500	25.750	18.000
(1) 全体配置計画提案書 ① 芸術文化創造活動の拠点としての考え方 ② 小田原駅・小田原城周辺との関係性を高め、街全体の回遊性への考え方 ③ 中心市街地の活性化やにぎわいを生み出す施設としての考え方 ④ 小田原城や三の丸地区周辺環境に配慮した小田原の都市景観形成の先導的施設の考え方	10	7.500	10.000	7.500
(2) 建築計画提案書 ① 各機能の配置計画及び動線(一般利用者・バック)計画 ② 外装計画 ③ 維持管理計画・ライフサイクルコストの縮減策	10	7.500	7.500	5.000
(3) 構造計画提案書 ① 構造計画概要及び仕様 ② 略伏図・略軸組図及び仮定断面	5	3.750	3.750	2.500
(4) 電気設備計画提案書 ① 電気設備計画概要及び仕様 ② 電気設備機器による騒音・振動対策及び舞台設備へのノイズ対策 ③ 維持管理計画・ライフサイクルコストの縮減	3	1.500	2.250	1.500
(5) 機械設備計画提案書 ① 機械設備計画概要及び仕様 ② 機械設備機器による騒音・振動対策及び舞台設備へのノイズ対策 ③ 維持管理計画・ライフサイクルコストの縮減	3	2.250	2.250	1.500
3.2 各機能計画	31	21.000	22.750	17.000
(1) 大ホール系機能提案書 ① 大ホール系機能計画 客席レイアウト及びサイトライン、遮音性能、バック動線、大ホール・ホワイエ内装計画等 ② 舞台機構・照明・音響設備計画 ア 舞台機構・照明・音響設備計画 イ 大ホールの音響シミュレーション ウ 残響や音響を調節する方策 エ オーケストラピットの考え方	8	6.000	8.000	4.000
(2) 小ホール系機能提案書 ① 小ホール系機能計画 多目的利用、客席レイアウト及びサイトライン、遮音性能、バック動線、小ホール・ホワイエ内装計画等 ② 舞台機構・照明・音響設備計画 ア 舞台機構・照明・音響設備計画 イ 小ホールの音響シミュレーション ウ 残響や音響を調節する方策	8	6.000	8.000	4.000
(3) 展示系機能提案書 展示系機能、分割利用方法、内装計画等	3	2.250	0.750	2.250
(4) 創造系・支援系機能提案書 遮音・振動対策、内装計画等	3	2.250	2.250	1.500
(5) 交流系機能提案書 にぎわい、施設の利用度を上げる方策、内装計画等	6	3.000	3.000	3.000
(6) 外構計画提案書 にぎわい、施設の利用度を上げる方策、外構計画等	3	1.500	0.750	2.250

2次審査評価点

審査項目	配点	梓設計・小泉アトリエ ・佐藤工業共同企業体 (B者)	鹿島建設・環境デザイン 研究所共同企業体 (C者)	前田建設工業・ヨコミン マコト建築設計事務所共 同企業体 (D者)
		得点	得点	得点
4. 施工計画提案	7	3.500	3.500	3.500
(1) 施工品質管理提案書 施工品質を確保するための重点ポイント、方 策	5	2.500	2.500	2.500
(2) 総合施工計画提案書 近隣及び観光客等、周辺環境に配慮した総合 施	2	1.000	1.000	1.000
5. コスト管理計画提案	10	7.500	5.000	10.000
(1) 提案事業費の妥当性				
① 内訳明細書の算出根拠・妥当性	5	3.750	1.250	5.000
② 提案事業費総括表				
③ 提案事業費内訳明細書				
(2) コスト管理方針提案書				
① 内訳明細書を発注者とのコスト管理 の共通ツールとして活用する方策	5	3.750	3.750	5.000
② 内訳明細書によるコスト管理の方法				
③ 物価上昇・与件不可避な項目に対するコスト 管理の方法				
6. 地域貢献提案	1	0.500	1.000	0.750
(1) 地域貢献				
① 小田原市内の建設事業者の活用	1	0.500	1.000	0.750
② 小田原市内の建設資材の購入計画				
③ 小田原市内の建設事業者以外の業種の活用 方法				

使い勝手の良い機能的なバックステージ

- 機能的なバックステージの実現
 - 共用バック通路(廊下)による大ホール(大ホール、小ホール、スタジオ)の直結と連絡を実現します。
 - 大ホール南側の出入口、通路、大ホール、後方等階入換路、舞台3面出し経路を確保します。
 - 小ホールゾーンが自立するため、2重遊歩道となります。
- 遊歩ゾーンの構成
 - 楽団口に集結した舞台スタジオ(楽団と楽師待合)の廊下による出入り(エレベーター)に統合利用します。
 - 大ホールとして不足する階段を容積内に大幅増設できる構造とします。
 - 小ホールを移動する大スタジオ、中スタジオ(2)にて作品づくりの過程での移動やリハーサルも可能です。
- 大ホール(スタジオ)の連携利用
 - 大ホール側で不足容量や専用トイレ等の相互補充が可能です。
 - 小ホールの大スタジオ、小スタジオへの転換によるアップグレードの進化や、再ホールにおいて上演する作品づくりへ向けた舞台活動の進化が図られる見込みです。
 - 音響反射板等音質の向上によって、空間感の向上、単位空間の多様な機能の獲得が可能です。

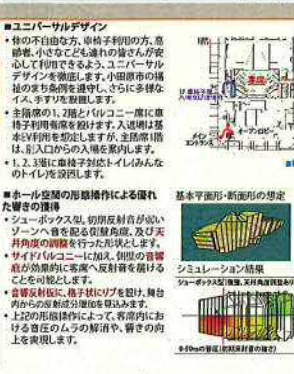
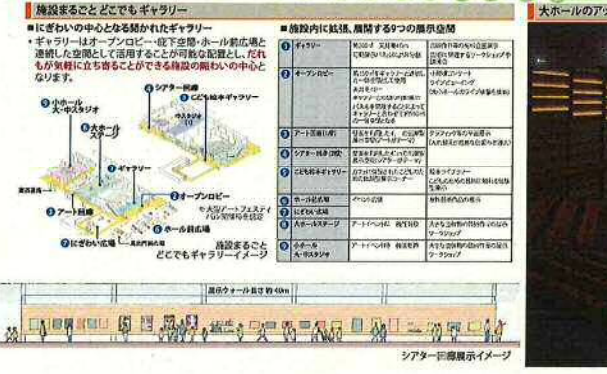
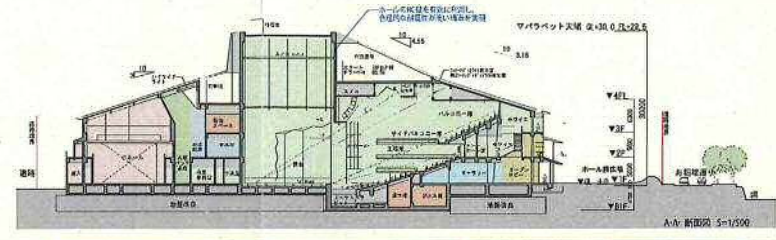
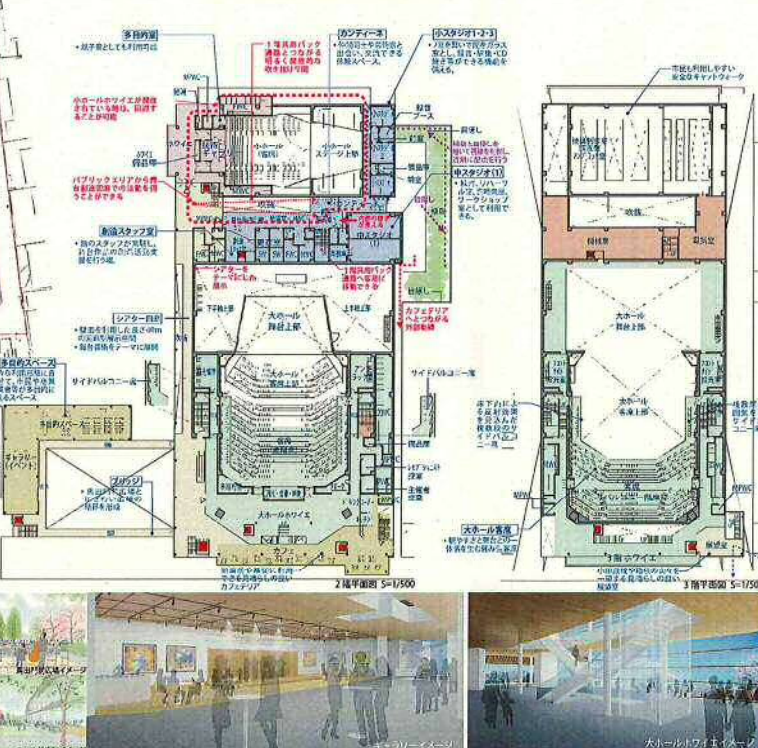
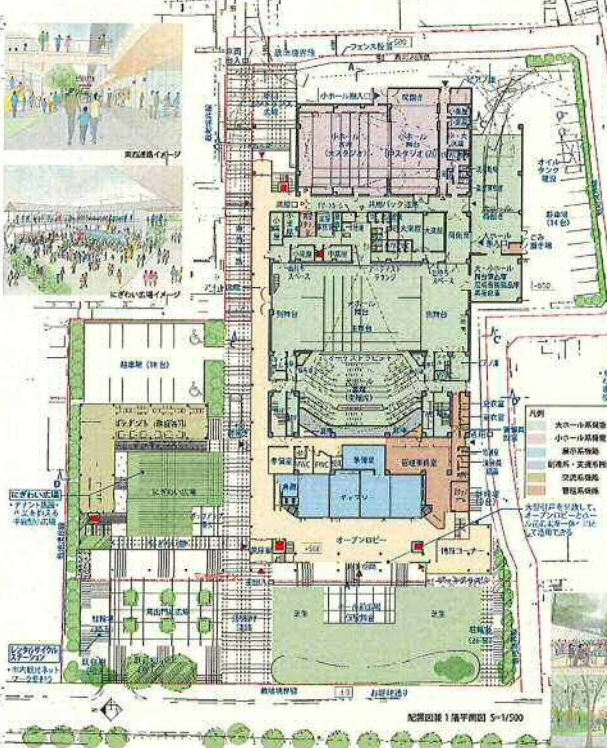
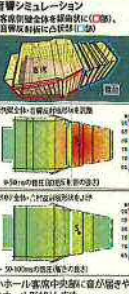


芸術が生まれ、人が育つ芸術文化創造の場『舞台創造回廊』



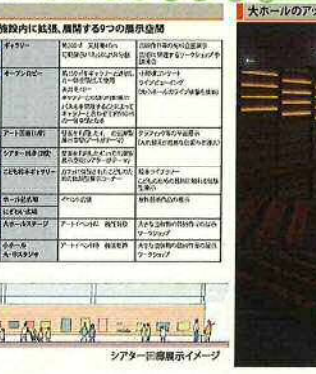
市民自らの手による発表・上演活動を主とした小ホール

- 施設内における観客・活動対象
 - 大ホール部分は、エキシビジョンゾーンで演劇やダンス、音楽発表を行います。さらに、越後RC習体、床はスラップ弾性床とし、観客・活動に配慮します。
 - 舞台バックの共用バック通路を大ホール側で使う場合においても、小ホールの運営が妨げられるように、共用バック通路の開口部は差込ます。
- 多目的利用可能なフレキシブル空間
 - 観劇・コンサート時
 - 観劇・観劇の時
 - 観劇・観劇の時
 - 観劇・観劇の時

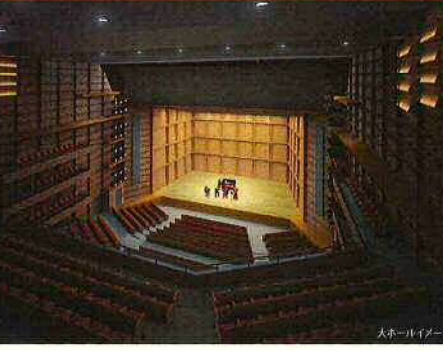


施設まるごとでもギャラリー

- にぎわいの中心となる集結型ギャラリー
 - ギャラリーはオープンデッキ(地下空間・小ホール前広場と連続した空間として活用することが可能な配置とし、だれもが気軽に立ち寄ることができる集結型の中心となります。

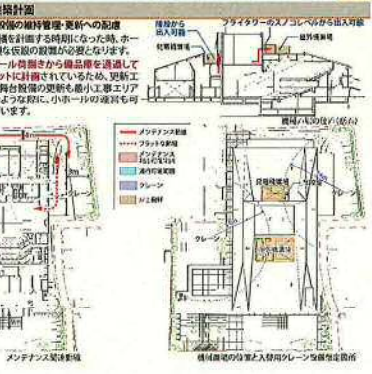


大ホールのアンパスタンドを実現



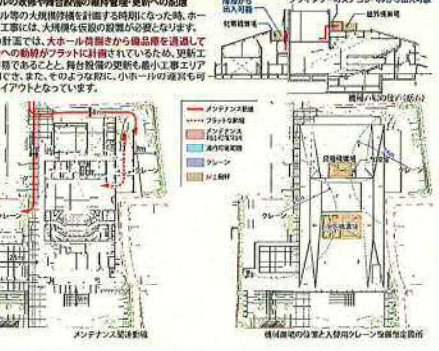
ユニバーサルデザイン

- ユニバーサルデザイン
 - ・他の不自由な方、車椅子利用の方、高齢者、小さな子ども連れの方などが安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインを実施します。小田原市の福祉のまち条例を参考に、さらに多様なニーズを先取りします。
 - ・座席席の1,2階と3階に基本車椅子利用者を想定する入退場は基本と利用を助しますが、主座席階は、出入口からの入場を案内します。
 - ・1,2,3階に車椅子対応トイレ(みんなのトイレ)を設けます。



維持管理しやすい建設計画

- 維持管理しやすい建設計画
 - 大ホール等の大規模修繕や舞台設備の維持管理・更新への配慮
 - 大ホール等の大規模修繕を計画する時期に当たって、ホールでの工事は、大規模な夜間の修繕が必要となります。
 - 今回の計画では、大ホール階層から階段を通過して主舞台への動線がフラットに計画されているため、更新工事が容易であること、舞台設備の更新も最小工費エリアで計画でき、また、そのような際に、小ホールの運営も可能と「アイデア」になっています。



映画「地上の星 - 二宮金次郎伝」について

— 映画「地上の星 - 二宮金次郎伝」に対する小田原市の支援等 —

1 支援の目的

平成30年秋に公開が予定されている映画「地上の星 - 二宮金次郎伝」は郷土の偉人二宮尊徳が本格的に映画化されるまたとない機会である。このため本市としては、映画化を二宮尊徳翁の偉業や魅力を市内外に発信していく「尊徳顕彰」の機会ととらえ、市内の子どもたちの尊徳学習に活用し、小田原が二宮尊徳のふるさとであることを内外にアピールし、都市セールスの推進を図ろうとするものである。

以上の目的から、本市は、行政と市民が一体となって当映画の製作や上映を支援していく。

2 小田原市による支援策

(1) 市民応援団おだわらに対する支援

- ア 負担金（上映費・広告費・事務経費等）の支出・・・①
- イ 事務局機能・・・②
- ウ 公共施設の提供

(2) ガバメントクラウドファンディング（GCF）手法による製作委員会に対する支援

GCF手法（ふるさと納税の一形態で、行政施策の「使い道」から寄附を募る仕組み）により広く市外在住の方からも資金援助を募る。

- ア 募集期間 平成30年5～7月（予定）
- イ 支援手法 映画製作費として製作委員会に対し負担金として直接支出・・・③

3 支援組織の発足等

平成30年1月23日に映画「地上の星 - 二宮金次郎伝」市民応援団おだわら（以下「市民応援団」という。）が発足し、行政と市民が一体となって本映画を支援していく体制が整った。

(1) 市民応援団の構成

- ア 会長 蓑宮武夫氏（ソニー(株)元執行役員 報徳二宮神社奉賛会副会長）
- イ その他構成員 小田原市、民間団体・企業含め全18人
- ウ 事務局 小田原市文化部生涯学習課

(2) 市民応援団の活動

- ア 映画製作、興行に必要な推譲金を募ること（募金活動、広告費の募集）
- イ 映画製作に関する各種支援（撮影協力、エキストラ協力等）
- ウ 映画上映に関する企画・支援

4 映画「地上の星 - 二宮金次郎伝」について

(1) 製作スタッフ及び主要キャスト

企 画	映画「地上の星」製作委員会
製作プロダクション	株式会社ストームピクチャーズ
原 作	三戸岡道夫 (『二宮金次郎の一生』 栄光出版社)
監 督	五十嵐匠 (映画「十字架」等)
脚 本	柏田道夫 (映画「武士の家計簿」等)
プロデューサー	永井正夫 (映画「のぼうの城」等)
製作協力	榎木孝明
キャスト	合田雅吏 (二宮金次郎役) 榎木孝明 (小田原藩主 大久保忠真役) 他

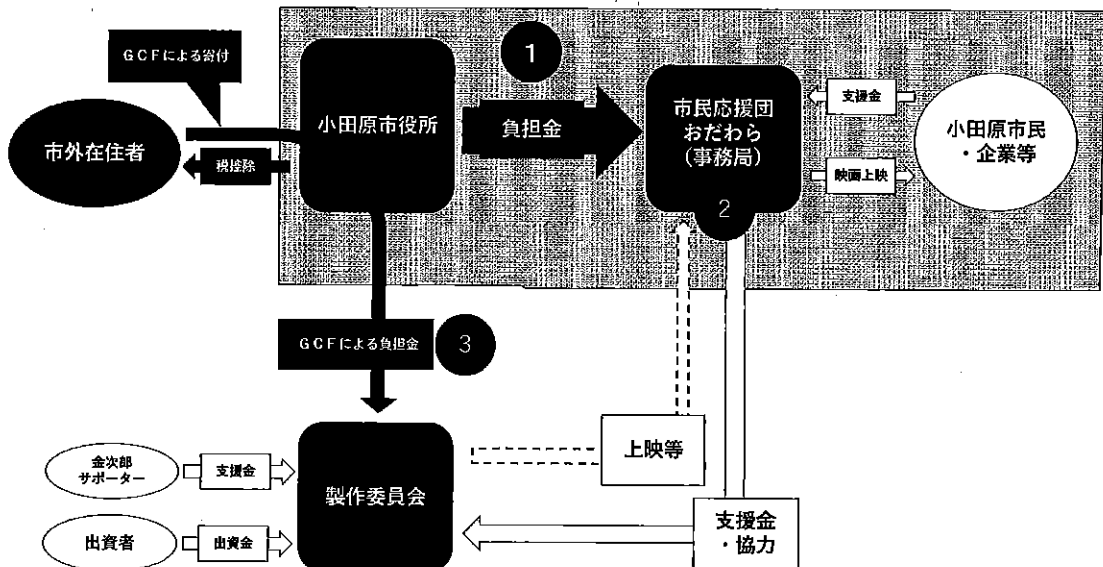
(2) 製作費等

300,000千円 (配給宣伝費を含む。)

(3) スケジュール

平成30年1月6日	子役オーディションを尊徳記念館で実施 75名が参加 (小田原市内は、29名)
平成30年1月13日	オーディションを日光市でも実施
平成30年1月下旬	配役決定
平成30年3月15日～4月末	メインシーン撮影
平成30年10月	映画完成
平成31年1月～	関係自治体での先行上映
平成31年5月～	全国映画館で上映

〔映画に対する支援のイメージ図〕



市民応援団参加団体

	団体名
1	あしがら平野一円塾
2	NPO 法人小田原ガイド協会
3	小田原市
4	一般社団法人 小田原市観光協会
5	一般財団法人 小田原市事業協会
6	小田原市自治会総連合
7	NPO 法人おだわらシネマトピア/小田原報徳実践会
8	小田原市商店街連合会
9	小田原箱根商工会議所
10	一般社団法人 かながわ西観光コンベンションビューロー
11	金次郎のふるさとを守る会
12	さがみ信用金庫
13	JAかながわ西湘
14	善栄寺
15	報徳九転十起人生塾
16	報徳二宮神社
17	報徳二宮神社奉賛会

(50音順) 平成30年1月23日現在

推譲スポンサー呼びかけ人参加団体

	団体名
1	株式会社小田原衛生工業
2	小田原ガス株式会社
3	一般社団法人小田原城下町
4	株式会社小田原百貨店
5	小田原報徳自動車株式会社
6	久津間製粉株式会社
7	さがみ信用金庫
8	株式会社 T-FORESTRY
9	株式会社東海ビルメンテナンス
10	Hamee株式会社
11	ヒューマンズ・ネット株式会社
12	富士屋ホテル株式会社
13	株式会社 古川
14	株式会社 山安

(50音順) 平成30年1月23日現在

製作企画書

「二宮金次郎」生誕 230 周年記念作品

劇映画「地上の星—二宮金次郎伝—」

2018 年 1 月 23 日

映画製作の趣意書

薪を背負った少年二宮金次郎の 「輝けるそれから」を完全映画化！

「二宮金次郎」。その名を知らない日本人は少ないでしょう。明治の頃より国定教科書に修身の模範として少年時代のエピソードがとりあげられて以来、昭和に入り軍国主義思想が徹底し始めると全国の学校の校庭に必ずといっていいほど薪を背負った金次郎の像が立てられました。それは貧しい境遇にもめげず黙々と働き、かつ勉強する金次郎型の少年が理想とされたからです。しかし、それは二宮金次郎の一部分にすぎません。その全生涯の業績を眺めるとけなげな少年像からは想像もつかない偉大で巨大な人物像が浮かび上がってくるのです。

青年になった二宮金次郎は、小田原藩の家老である服部家に仕え、財政再建をはかり、その功を認められ、荒廃した桜町領（栃木県芳賀郡二宮町と真岡市の一部）の復興事業を任せられます。金次郎はこれまでの封建社会の枠組みをくつがえすような「報徳仕法」と呼ばれるやり方で見事に立て直してしまいます。その後、生涯で関東を中心に600余の村という村の復興を手掛け、何千町歩という田畑を開拓するのです。金次郎が死んだとき、金次郎所有の田畑は一坪もありませんでした。また、膨大な資金もすべて報徳金として蓄積され、私有財産としては全く残しませんでした。すなわち、二宮金次郎は、自分の全生涯を自分のためではなく、農村のためにささげたのです。

映画「地上の星—二宮金次郎伝—」は、自然災害により田畑を失い、次々と両親を亡くし、兄弟とも離れ離れになりながらも貧しさと必死に戦う少年金次郎の姿を交えながら、青年時代の<復興>にける最も輝いていた二宮金次郎の波乱万丈の生き様を映画化するものです。

【作品概要】

- 形式 長編劇映画
- 規格 デジタル 110分
- 総製作費 2億5千万円
- 完成予定 2018年（平成30年10月）
- 原作 三戸岡道夫「二宮金次郎の一生」
(栄光出版社刊)
- プロデューサー 永井正夫（映画「のぼうの城」）
桜井勉
- 脚本 柏田道夫（映画「武士の家計簿」）
- 監督 五十嵐 匠（映画「半次郎」）
- 撮影 釘宮慎治
- 照明 山川英明
- 録音 瀬川徹夫
- 助監督 羽石龍太郎
- 美術監督 中澤克巳
- VFX 松本肇
- 制作プロダクション (株) ストームピクチャーズ

【キャスト】

◆二宮金次郎 合田雅吏

◆二宮なみ 田中美里

◆豊田正作 成田湊

◆五平 柳沢慎吾

◆大久保忠真（小田原藩藩主）

榎木孝明

■特別協力 万葉倶楽部株式会社

大本山成田山新勝寺

株式会社コロナ

■製作協力 榎木孝明

■協力 全国報徳研究市町村協議会

(小田原市、秦野市、掛川市、筑西市、御殿場市、日光市、
真岡市、南相馬市、桜川市、相馬市、那須烏山市、浪江町、
茂木町、大熊町、大台町、飯館村、豊頃町全国17市町村)

報徳二宮神社

大日本報徳社

タウンニュース社

伊那食品工業株式会社

茨城県信用組合

ヤオマサ株式会社

パナック工業株式会社

(株)プランティックコンサルティング

■後援 FM おだわら

製作スケジュール

- 2017年
- 8月4日 尊徳記念館にて制作発表
- 9月23日 日光市にて秋の田んぼ収穫のシーン及びラストシーン撮影。
- 11月10日、11日 全国報徳サミット日光大会
- 11月19日 市民応援団おだわらキックオフパーティー
(会長蓑宮武夫、顧問草山明久)
- 2018年
- 1月 各パート準備・子役オーディション (小田原、日光)
- 1月23日 市民応援団おだわら発足式
- 3月15日 クランクイン
- 4月末ドラマ部分アップ
(撮影実数40日)
- 8月 夏の田んぼ追加撮影
- 10月 小田原にて完成披露
- 2019年
- 1月 報徳17市町村公開
- 5月 全国劇場公開

映画監督 五十嵐 匠 (しょう) プロフィール

1958年(昭和33年)9月16日 青森市に生まれる。弘前高校、立教大学文学部卒。大学時代、シナリオセンターに通う。岩波映画・四宮鉄男監督に師事、助監督として修業する。以後、TBS「兼高かおる世界の旅」制作のため、アラスカをはじめ、世界各国を回る。

1996年、長編ドキュメンタリー映画「SAWADA」を監督。(毎日映画コンクール文化映画グランプリ・キネマ旬報文化映画グランプリ・日本映画ペンクラブ選出準グランプリ・日本映画技術賞・JSC賞)

1999年、映画「地雷を踏んだらサヨウナラ One step on a mine, It's all over.」(浅野忠信主演)完成。2000年、正月ロードショー公開。(毎日映画コンクール主演男優賞(浅野忠信・バンコク映画祭 観客賞))

2001年12月、夭折した童謡詩人金子みすゞの生と死を描く劇映画「みすゞ」(田中美里主演)を監督。(毎日映画コンクール助演男優賞・日本映画プロフェッショナル大賞(寺島 進)、毎日映画コンクール技術賞(金沢正夫)文化庁優秀作品賞)

2003年近代陶芸の先駆者、陶芸家板谷波山の生き様を描いた劇映画「HAZAN」(榎木孝明主演、南果歩他)を監督。(ブルガリア・ヴァルナ国際映画祭グランプリ // 批評家連盟賞)

2005年奄美大島で死んだ孤高の日本画家田中一村の生と死を描く劇映画「アダン」(榎木孝明主演、古手川祐子他)を監督。(第18回東京国際映画祭「日本映画・ある視点部門」公式出品 アメリカ・シラキユース国際映画祭 審査員特別賞)

2006年、幕末長州藩のサムライ達五人が英国へと命を賭けて密航した青春を描く「長州ファイブ」(松田龍平主演)を監督。(2007年新春全国公開)(第19回東京国際映画祭「日本映画・ある視点部門」公式出品 第40回アメリカ・ヒューストン国際映画祭 グランプリ)

2009年、幕末薩摩藩で西郷隆盛の片腕で「人斬り半次郎」の異名を持つ日本初の陸軍少将桐野利秋の生と死を描く劇映画「半次郎」(榎木孝明主演、エグザイルAKIRA, 白石美帆他)を監督。(2010年秋全国公開)

2014年、直木賞作家重松清原作作品劇映画「十字架」を監督。

(永瀬正敏、小出恵介、富田靖子、木村文乃他)(2016年正月全国劇場公開)

プロデューサー 永井 正夫 プロフィール

1945年 長野県生まれ。

長野県立上田高校、明治大学文学部演劇学専攻卒。文学座養成所卒。
舞台活動を経て、市川崑、新藤兼人、家城巳代治、今井正、篠田正浩、
神山征二郎

他の助監督を勤める。『はなれ瞽女おりん』以後の篠田作品チーフ助監督を勤める。

1987年公開のF1グラフィ『グッバイ・ヒーロー』を監督する。

1990年『少年時代』、92年『遠き落日』のプロデューサー。

1993年撮影のコロンビア映画『3NINJAS Go To Japan』日本ユニットプロデューサー。

1995年『写楽』プロデューサー補。

1997年『失楽園』、98年『不夜城』、99年『死国』、2000年『郡上一揆』
プロデューサー。

2003年『草の乱』、06年『あかね空』、『ふみ子の海』、07年『明日への
遺言』プロデューサー

2009年『LEONIE』プロデューサー 株式会社エース・プロダクション
設立し代表

2011年 ㈱エース・プロダクションを退き株式会社永井プロジェクト設
立し代表

主な参加作品

1970『鯉のいる村』(神山征二郎監督)

1971『時よとまれ 君は美しいー最も速くー』(市川 崑監督)

ミュンヘンオリンピック 公式記録映画 陸上100m

1972『股旅』(市川 崑監督)

1973『マヨコに雪が降る』(安 作郎監督)

『時計は生きていた』(神山征二郎監督)

1974『わが道』(新藤兼人監督)

『恋は緑の風の中』(家城巳代治監督)

1975『わが青春の時』(森川時久監督)

1976『君は憤怒の河を渡れ』(佐藤純弥監督)

1977『八甲田山』(森谷司郎監督)

『はなれ瞽女おりん』(篠田正浩監督)

1978『子育てごっこ』(今井 正監督)

1979『夜叉ヶ池』(篠田正浩監督)

- 1980 『ヒポクラテスたち』(大森一樹監督) アシスタント・プロデューサー
『日本フィルハーモニー物語り・炎の第五楽章』(神山征二郎監督)
- 1981 『悪霊島』(篠田正浩監督)
- 1982 『ひめゆりの塔』(今井 正監督)
- 1983 『瀬戸内少年野球団』(篠田正浩監督)
- 1984 『大協石油 1985』—大協石油 45 周年記念— 演出
- 1985 『植村直巳物語』(佐藤純弥監督)
『ALLUSION—転生譚—』(篠田正浩監督) 製作
- 1986 『瀬戸内少年野球団・青春編』(三村晴彦監督)
- 1987 『グッバイ・ヒーロー』(日本ヘラルド製作・配給) 監督
- 1988 『舞 姫』(篠田正浩監督)
『せんせい』(山城新伍監督)
- 1989 『公園通りの猫たち』(中田新一監督) 製作管理
- 1990 『少年時代』(篠田正浩監督) プロデューサー
- 1991 『天河伝説殺人事件』(市川 崑監督)
- 1992 『薄れゆく記憶のなかで』(篠田和幸監督) プロデューサー
『遠き落日』—野口英世物語—(神山征二郎監督) プロデューサー
- 1993 『3NINJAS Go To Japan』コロンビア映画 日本エイトプロデューサー
- 1995 『寫 楽』(篠田正浩監督) プロデューサー補
『ひめゆりの塔』(神山征二郎監督) 製作コーディネイト
- 1996 『瀬戸内ムーンライトセレナーデ』(篠田正浩監督) 製作管理
- 1997 『失樂園』(森田芳光監督) プロデューサー
『RIKO』(井坂聡監督) プロデューサー
- 1998 『不夜城』(李志毅監督) プロデューサー
- 1999 『死国』(長崎俊一監督) プロデューサー
- 2000 『リング0』(鶴田法男監督) プロデューサー
『郡上一揆』(神山征二郎監督) プロデューサー
- 2001 『伊能忠敬』(小野田嘉幹監督) プロデューサー
『阿弥陀堂だより』(小泉堯史監督) 製作協力
- 2002 『スパイ・ゾルゲ』(篠田正浩監督) 協力プロデューサー
- 2003 『草の乱』(神山征二郎監督) プロデューサー
- 2004 『石井のお父さんありがとう』-石井十次の生涯- (山田火砂子監督)
プロデューサー
- 2004 『カーテン・コール』(佐々部清監督) ラインプロデューサー
- 2005 『風のダドゥ』(中田新一監督) プロデューサー
- 2006 『あかね空』(浜本正機監督) プロデューサー

- 『ふみ子の海』(近藤明夫監督) 企画
- 2007 『明日への遺言』(小泉堯史監督) プロデューサー
エース・プロダクション合同会社設立代表
- 2009 『LEONIE』(松井久子監督) プロデューサー
エース・プロダクション合同会社を株式会社エース・プロダクションに改定
- 2010 『武士の家計簿』(森田芳光監督) 製作統括
観光庁 スクリーンツーリズム ワーキング委員
- 2011 『のぼうの城』(犬童一心、樋口真嗣監督) プロダクション・スーパーバイザー
Ndjc2011 若手映画作家育成プロジェクトメンバー
(株)エース・プロダクションを退き株式会社永井プロジェクトを設立し代表
- 2012 『ラララ・ランドリー』(鈴木研一郎監督) ndjc2012 プロデューサー
上田城下町映画祭 自主映画コンテスト審査員退任 10年間
- 2014 ドキュメンタリー『灯り続けた街の明り』(水元泰嗣監督)
プロデューサー
- 2016 映画『うさぎ追いしー山極勝三郎物語ー』(近藤明男監督) 公開中
- 2017 映画「地上の星ー二宮金次郎伝」(五十嵐匠監督) プロデューサー製作中
- 映画 『親鸞』(原作・五木寛之) 企画進行中

他に PR 演出、教育映画、TV ドラマ等多数。
共同組合 日本映画製作者協会 会員

小田原労働基準監督署の是正勧告への対応について

1 事案の概要

平成29年5月23日（火）に小田原労働基準監督署による立入調査（監督時調査）が市立病院で実施され、5月30日付けで労働基準法関係3件、労働安全衛生法関係9件、合計12件の法令違反に対して是正勧告を受けた。

2 是正勧告の主な内容

- (1) 医療技術部門（薬剤科、放射線科、病理診断・臨床検査科）の宿日直勤務について、その実態が宿日直ではなく、通常の勤務であるため、宿日直時間帯に係る時間外労働、深夜労働に対し、割増賃金を遡及して支払うこと。
- (2) 期間の定めのある臨時職員と労働契約を締結する際に、更新の基準に関する事項を書面で明示すること。
- (3) 有機溶剤業務やホルムアルデヒドを取扱う作業に職員を従事させているにもかかわらず、有機溶剤作業主任者、特定化学物質作業主任者を選任していないこと。
- (4) この他、就業規則を変更した場合の届出やホルムアルデヒドを取扱う作業場での職員の健康診断や換気装置の点検などに関する是正勧告があった。

3 是正勧告への対応等

いずれの事項に対しても勧告内容に従い改善を行うこととする。

- (1) 医療技術部門で宿日直に従事した職員に対し、勧告時点から2年遡って時間外労働とした場合の手当と、既に支給した宿日直手当との差額を支給する。

なお、管理職職員は時間外勤務手当の支給対象とならず、深夜割増額については、宿日直手当に含まれているとして、遡っての調整は行わない。

※上記を実施するため、市議会3月定例会に補正予算案及び条例改正案を提案する予定である。

- (2) 臨時職員の雇用更新の基準は、雇用通知書の別紙に記載することとした。
- (3) 病理診断・臨床検査科の医師が「有機溶剤作業主任者技能講習」及び「特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習」を受講し、当該医師を両主任者に選任した。
- (4) 医療技術部門の2交代勤務制への移行については、是正勧告以前から取り組んできたが、早期の実現を図っていく。